

「公共工事金質獎 特優」を受賞

～台湾の公共工事において最も栄誉ある賞～

2022年1月31日

日本信号株式会社

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）が台湾にて士林電機廠股份有限公司（本社：台北市士林区）と共同で設計・施工を請け負った『臺鐵南迴鐵路臺東潮州段電氣化工程建設計畫』（台湾南迴線電化工事）が、台湾の行政院（日本の内閣に相当）公共工程委員会より「公共工事金質獎 特優」（日本の内閣総理大臣賞に相当）を施設分野で受賞しました。2013年の在来線台湾国鉄 竹北駅電子連動新設工事にて受賞した「佳作」に続き、2回目の今回は「特優」の受賞となります。金質獎は年に一度公共工事の品質向上、生活環境及び企業競争の改善を目的に台湾における最高栄誉として行政院公共工程委員会が授与するものです。品質だけでなく工事の設計、工程、環境、新技術や工事の難易度なども評価の対象となります。2021年12月23日に台北市内の中油大樓にて授賞式典が執り行われ、蘇貞昌行政院長より表彰盾を拝受しました。台湾全土の公共工事から選出される公共工程金質獎の最上位「特優」は、日本企業による鉄道信号工事としては初の受賞となります。

本工事は2017年2月に起工し、2021年9月に全12駅の切替工事が完了しました。電子連動化による省エネ化や省スペース化をはじめとして、線路長が長く高架やトンネルが多い過酷な現場環境で期限内に工事を完了させたことが高く評価されました。この難工事により、長年実現されなかった幹線最後の123.4キロ区間の電化と併せ、当社の最新信号システムへの更新を実現しました。当該区間への電車特急の乗り入れにより、台湾全島一周全てが台北から鉄道日帰り圏となり、台湾南部の経済・観光発展に大きく寄与するものと期待されています。

当社は長年の鉄道信号に関する実績と経験を基に、世界の公共インフラの発展並びに鉄道の安全輸送に貢献するべく、今後も継続して安全で信頼性の高い製品とサービスを提供します。



授賞式典の様子

（右から5番目：蘇 貞昌行政院長、1番目および左から3番目：当社社員）

問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp